

新型インフルエンザとは？

(パンデミックインフルエンザ)

問い合わせ
健康づくり課
☎048-465-8611 (直通)

今までにもあった 「新型インフルエンザ」

「新型インフルエンザ」という言葉は、聞き慣れないかもしれませんが、実は、新型インフルエンザの大流行は20世紀に3度ありました。

10年から40年の周期で大流行（パンデミック）を引き起こし、世界中で大きな被害をもたらしてきました。

1918年	スペインかぜ	死者	39万人	(日本)
1957年	アジアかぜ	死者	5,700人	〃
1968年	香港かぜ	死者	2,000人	〃

(厚生労働省資料より)

日本では「かぜ」と呼ばれていましたが、いずれも当時の新型インフルエンザでした。

通常、インフルエンザというときは、冬に流行する季節性のインフルエンザを指します。これら季節性のインフルエンザは、ほとんどの人が、過去の感染やワクチンの接種によって基礎免疫を持っているため大流行（パンデミック）となりません。

発生したらどうなるの？

新型インフルエンザに対しては、誰も免疫を持っていないうえ、現在は、交通機関が発達して世界中で人の往来が活発です。そのため、新型インフルエンザが発生すると、感染の拡大を防ぐのは難しく、瞬く間に世界中で大流行（パンデミック）すると考えられています。厚生労働省の試算によると、4人に1人が新型インフルエンザに罹患すると予想されています。

日本での被害予想（厚生労働省試算）

人	口	1億2700万人
り	患	者
数		3200万人
入	院	患
者	数	53~200万人
死	亡	者
数		17~64万人

※ワクチンやタミフルを使用しない場合での試算

新型インフルエンザは、 鳥インフルエンザウイルスが 変異して発生します！

現在、アジアを中心に感染が拡大している鳥インフルエンザは、簡単には人に感染することがありません。しかし、インフルエンザウイルスは、変異しやすいため、人から人へと容易に感染しやすいウイルスになることがあります。

この、人から人へ容易に感染するようになった鳥インフルエンザのことを「新型インフルエンザ」と呼びます。

現段階では、どの程度の症状が出るのかは予測困難ですが、発熱、咳のほかに、重症化すると肺炎や多臓器不全などを引き起こすと考えられています。

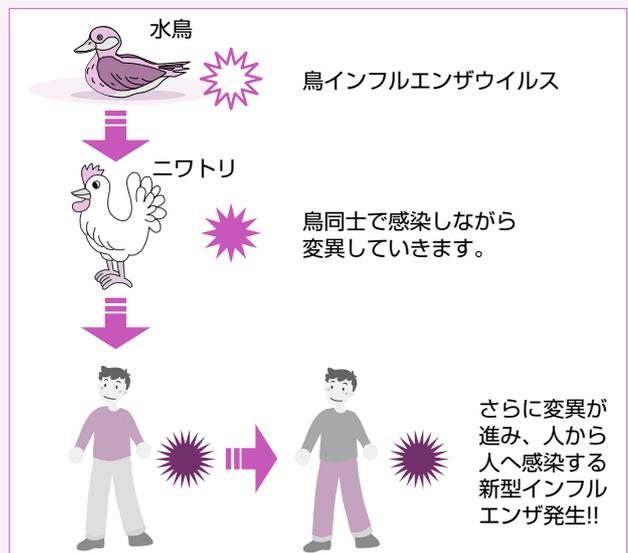


若くて健康な人も注意が必要です！

体の免疫機能が過剰反応し、自分自身の組織を傷つけてしまう「サイトカイン・ストーム」という現象は、免疫機能がよく働いている若い年代が引き起こしやすい現象です。スペインかぜでも、サイトカイン・ストームが起こったため、若年者の死亡者が多かったと報告されています。

現在考えられている

新型インフルエンザ発生メカニズム（例）



新型インフルエンザが大流行したらこんな状況に…!?

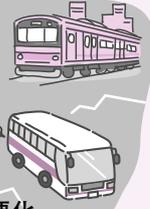
大流行（パンデミック）時に想定される生活への影響

医療

- 多くの患者が医療機関に殺到（人手・ベッド・薬の不足）
- 医師や看護師にも感染が拡大（診療・入院が不可能）
- 救急車が不足、救急隊員にも感染（救急体制が危機的状況に）

日常生活

- ライフラインに従事する職員が感染（電気・ガスなどが制限）
- 物の流通が停止し、食料品などが品不足に
- 公共交通機関の運行が縮小・中止に
- 学校や保育園が休校・休園に
- 警察、消防などの人員不足により、治安が悪化



…などが考えられます。

このように、新型インフルエンザが発生するとさまざまな被害が想定されます。しかし、これらの被害は、わたしたちひとりひとりの心がけによって、最小限に抑えることができます。そのためにも、今から対策をたて、準備を進めていく必要があります。

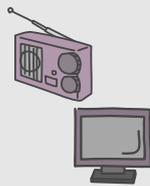
今からわたしたちにできることは？

日ごろから

- 外から帰ってきたら、手洗い・うがいをしましょう！
洗顔もするとなおいいでしょう。



- 情報収集に心がけましょう！
テレビ・ラジオ・新聞・インターネット等のニュースに注意を払う必要があります。うわさやデマに惑わされないよう注意しましょう。



- 咳エチケットを習慣づけましょう！

- 咳・くしゃみの際はティッシュなどで口と鼻をおさえ、他の人から顔をそむけて1m以上離れましょう。
- 咳をしている時はマスクを着用しましょう。



こんなことにも注意！

弱っている野鳥や死んでいる野鳥には触れないようにしましょう

（鳥インフルエンザに感染しているおそれがあります。）

発生したら、外出を控えましょう！

- ★現在、朝霞市では新型インフルエンザ対策行動計画の策定に向け、準備を進めています。また、最新の情報等についても順次提供してまいります。

今から

- 各家庭で飲料水・食料品や日用品などの備蓄をしておきましょう！

飲料水・食料品

- 飲料水（1人1日最低でも2ℓ必要です）
- 主食（米・もち・めん類・乾パン・シリアルなど）
- レトルト食品・インスタント食品
- 缶詰（おかず・果物など）
- 栄養補助食品・サプリメント
- お菓子（あめ・チョコレートなど）
- ロングライフ牛乳・チーズなどの乳製品
- 冷凍食品 ※停電時の保存には注意が必要です。



感染防止用品

- 使い捨てマスク（医療用・サージカルマスク等）
※使い捨てのため多めに用意しましょう。
 - ゴム手袋（薄いもの・厚いもの）※使い捨て
 - ゴーグル（目から飛まつ感染することを防止します）
 - 消毒薬（アルコール・塩素系漂白剤など）
 - 体温計（予備も用意）
 - ビニール袋（使用済みのマスクなどを密閉して捨てます）
- ・このほか、薬品・看護用品などもあると便利です。

※備蓄については、地震災害時には最低3日間分とされていますが、**新型インフルエンザ対策では最低2週間分が必要とされています。**量が多いため、計画的に備蓄することが必要です。

※このほかにも、各家庭の状況に合わせて用意をしておきましょう。

新型インフルエンザ最新情報については…

- ・厚生労働省 <http://www.mhlw.go.jp/>
- ・国立感染症研究所 <http://www.nih.go.jp/niid/>
- ・埼玉県 <http://www.pref.saitama.lg.jp/A04/BU00/newinflu/top.html>